

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展	個別事業掲載No	教 — 1
------------	--------------------------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・実施方針に基づく小・中一貫教育の充実 ・コミュニティ・スクールの学校支援体制の充実	<②事業実施による成果> ・市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合の増加 ・学校支援者数の増加			
実施計画					
通年	・各学園の運営体制の改善 ・学園評価（検証）の実施 ・コーディネーターのあり方の検討	上半期	・小・中一貫教育の教員の指導体制のヒアリングの実施 ・前年度の学園評価の公表 ・CS推進会議 2回開催	下半期	・小・中一貫教育に係る指導訪問を全校で実施 ・今年度の学園評価の実施 ・CS推進会議 2回以上開催

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
小・中一貫教育については、学校管理職から教員の指導体制についてのヒアリングを実施し、実態把握や指導・助言を行った。昨年度の学園評価の公表は完了し、今年度の学園評価フォーマットの見直しを校長会等で周知した。三鷹コミュニティ・スクール推進会議は第1回を開催し、コーディネーターの位置づけや配置等のあり方について、検討を進めている。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
重点的に取り組む課題とする 学校支援ボランティアのコーディネートについては、教育委員会が主体性をもって慎重に検討すること。また、コミュニティ・スクールガイドについては、学園のホームページ等に掲載し、広く公開すること。なお、ガイドの作成については、教育振興基金の活用を視野に入れ検討すること。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・実施方針に基づく小・中一貫教育の充実 ・コミュニティ・スクールの学校支援体制の充実	<②事業実施による成果> ・市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合 77.2% ・学校支援者数 16,303人			
実施状況					
通年	・(通年)各学園の運営体制の改善 ・(6月)学園評価（検証）の実施 ・(年4回)コーディネーターのあり方の検討	上半期	・(6月)小・中一貫教育の教員の指導体制のヒアリングの実施 ・(6月)前年度の学園評価の公表 ・(7月)CS推進会議	下半期	・(10～3月)小・中一貫教育に係る指導訪問を全校で実施 ・(2月)今年度の学園評価の実施 ・(10, 11, 2月)CS推進会議

4 事後評価 <1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等) >

(1) 主管課評価	1	(2) 事業評価審査会評価	1
ヒアリングや指導訪問、学園評価（検証）の着実な実施により、積極的な学園内の連携・指導交流の推進を図った。 「三鷹コミュニティ・スクール推進会議」を年4回開催し、各委員会の組織の現状や活動内容、実践事例についての情報を学園間で共有することができた。その中で、永続的なコミュニティ・スクールのあり方と活性化に向けた活発な議論が展開され、コミュニティ・スクール先進都市として各学園の特色を明らかにする中で、今後コミュニティ・スクールのあるべき方向へのガイドラインとなる報告書を作成することができ、各学園の実践の充実・発展に役立てることが可能となった。さらに、2学園目のコミュニティ・スクールガイドを作成し、新一年生保護者会での配布やHPへの掲載を行った。			
事務事業総点検運動により事業費を抑制しつつ、文部科学省委託事業に取り組み、学園間での優れた実践事例を共有する報告書を作成した点や、コミュニティ・スクールガイドの作成などについて評価できる。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	80,782	77,384	77,846
決算額	72,396		67,384
執行率(%)	89.6%		86.6%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）	個別事業掲載No	教 — 2
------------	--	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・施設の建設工事着手 ・管理運営計画の検討 ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握	<②事業実施による成果> ・施設整備の推進 ・管理運営計画の検討の推進			
実施計画					
通年	・管理運営計画の検討 ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握	上半期	・他自治体の類似施設等へのヒアリング	下半期	・施設の建設工事着手

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
市長部局と連携し、新施設における管理運営計画の検討とともに、「健康・体力相談支援システム」や「施設予約システム」などの情報通信システムの構築に向けた検討を行った。他自治体の体育施設への視察も上半期1回（練馬区）実施した。下半期も視察やデモ等を実施し、システム化の具体的なイメージを確認する。また、スポーツ推進審議会や体育協会、社会教育委員会議などに事業の進捗状況等を報告した。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
重点的に取り組む課題とする 管理運営計画策定にあたっては、関係団体等と丁寧に協議すること。また、生涯学習に係る組織のあり方についても、検討すること。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・施設の建設工事着手 ・管理運営計画の検討 ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握	<②事業実施による成果> ・施設整備の推進 ・管理運営計画の検討の推進			
実施状況					
通年	・管理運営計画の検討 ・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握	上半期	・（8月）他自治体の類似施設等へのヒアリング	下半期	・（10・2月）他自治体の類似施設等へのヒアリング ・（10月）施設の建設工事着手

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
平成25年10月より、施設の建設工事に着手した。市長部局と連携し、庁内検討や他自治体の類似施設等へのヒアリングを行うとともに、関係する審議会、団体等への情報提供、意見交換を行いながら、管理運営計画の検討を進めた。また、「健康・体力相談支援システム」や「施設予約システム」などの情報通信システムの構築に向けた検討も行った。			
平成26年度は、施設の建設工事を安全かつ計画的に進めるとともに、引き続き、市長部局と連携し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、管理運営計画を策定する。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	0	0
決算額	0	0	0
執行率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	南部図書館の整備の推進	個別事業掲載No	教 — 3
------------	-------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・開館式典の開催 ・開館時、図書資料等30,000冊を所蔵 ・開館記念講演会・講座等 3回開催	<②事業実施による成果> ・来館者数（開館～平成25年度末） 5万人	
実施計画			
通年	・南部図書館開館準備 ・南部図書館管理運営 ・郭沫若文庫等貴重資料展示に関する調査研究	上半期	・開館準備（内装工事、図書資料・備品購入、調査研究） ・定期建物賃貸借契約等締結 ・式典・講演会等準備
		下半期	・11月23日開館及び開館式典の開催 ・郭沫若文庫等貴重資料展示 ・協働事業開催

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	
<上半期の実績及び課題等>				
南部図書館内の内装工事は完了し、9月2日から南部図書館内で開館準備作業を開始する。開館準備作業にあたってはサポーターとともに行うが、8月20日に80人超の参加者のもと説明会を開催した。 また、サポーターの協働作業方法、蔵書数の確保及び図書資料の整備が課題であり、開館式典の準備についても、サポーターと協働し進める。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等>				

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・平成25年11月23日開館式典開催 ・開館時、図書資料等30,000冊を所蔵完了 ・開館記念講演会・講座等 5回開催	<②事業実施による成果> ・来館者数（開館～平成25年度末） 38,660人	
実施状況			
通年	・南部図書館開館準備 ・南部図書館管理運営 ・郭沫若文庫等貴重資料展示に関する調査研究	上半期	・開館準備（内装工事、図書資料・備品購入、調査研究） ・定期建物賃貸借契約等締結 ・式典・講演会等準備
		下半期	・11月23日開館及び開館式典の開催 ・郭沫若文庫等貴重資料展示 ・協働事業開催

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	1	(2) 事業評価審査会評価	1
南部図書館は計画どおり11月23日に開館し、100席の閲覧席を有する滞在型図書館として市民に親しまれている。開館に際しては、128人の図書館サポーターとの協働により、開館式典の開催や館内装飾、資料の配架やガーデニングなどの活動を行った。また、アジア・アフリカ文化財団との協働により、同財団所有の貴重資料の展示を行ったほか、同図書館長による講演会や、留学生によるおはなし会などを実施した。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	6,090	465,991	460,976
決算額	6,083		457,133
執行率(%)	99.9%		99.2%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	スポーツ祭東京2013（東京国体）の推進	個別事業 掲載No	教 — 4
------------	----------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・国体正式種目3競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事1種目、障害者スポーツ大会1競技の開催 ・炬火イベントの開催 ・大会開催気運醸成事業の実施		<②事業実施による成果> ・広く市民へのスポーツの普及 ・大会を通して交流人口の拡大による地域活性化 ・観光施策との連携による三鷹の魅力の発信		
	実施計画				
通年		上半期	・7月 炬火イベントの開催 ・大会開催気運醸成事業の実施（随時）	下半期	・9月28日～10月14日 スポーツ祭東京2013開催

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	
<上半期の実績及び課題等> みたか商工まつりの会場において、ボーイスカウト等の協力を得て、「三鷹市の火」を採火するイベントを実施した。市内イベント等にゆりーとを派遣したり啓発品を配布するなどして気運醸成に努めた。引き続き大会開催に向け、実施本部員・市民ボランティアの運営体制や競技運営の準備に万全を期す。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等>				

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・国体正式種目3競技、デモンストレーションとしてのスポーツ行事1種目、障害者スポーツ大会1競技の開催 ・炬火イベントを商工まつりで開催 ・大会開催気運醸成事業の実施		<②事業実施による成果> ・三鷹市開催会場への全来場者（競技出場者・関係者含む）約13,800人 うち、一般・学校観戦など観覧者約8,200人 ・関係団体や市民ボランティアの協力による円滑な競技運営や子ども達の参加による炬火イベント開催等を通じた地域活性化 ・三鷹の魅力の発信		
	実施状況				
通年		上半期	・7月 炬火イベントをみたか商工まつりで開催 ・大会開催気運醸成事業の実施（随時）	下半期	・9月28日～10月14日 スポーツ祭東京2013開催

4 事後評価 <1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等）>

(1) 主管課評価 2 関係団体や市民ボランティアとの協働により、大会運営を行い、実施事業全てを成功裡に終了することができた。 商工まつりで炬火イベントを実施した他、「ゆりーと」を活用しながら市内イベント等に数多く参加し、啓発活動に努めた。こうした取り組みを通して地域の活性化が図られたとともに、三鷹の魅力を内外に発信することができた。	(2) 事業評価審査会評価 2		
(3) 予算執行状況等 （単位：千円）			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	81,200	190,651	190,651
決算額	75,234		173,495
執行率（%）	92.7%		91.0%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	学級増への適切な対応及び学校規模の適正化に向けた取り組み	個別事業掲載No	教 — 5
------------	------------------------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・学校規模の適正化に向けた分析・検討	<②事業実施による成果> ・検討報告書の作成 ・教室改修工事の実施（高山小・井口小）			
実施計画					
通年	・教室改修工事の実施（高山小・井口小）	上半期	・学校規模の適正化に向けた分析・検討 ・検討報告書の作成	下半期	

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	
<上半期の実績及び課題等>				
平成24年度に設置した「学校・学童保育所の規模の適正化検討チーム」において検討を行ってきた児童数の予測について、平成25年度の実績値と比較し検証した結果、概ね信ぴょう性を有することが確認できたことから、学区域の変更による対応や仮設校舎の増築による対応など、複数の対応策について検討を行った。				
<事業評価審査会特記意見>				
子ども政策部と連携し、さらに具体的な検討を行うことが望ましい。				
<政策会議における評価・意見等>				
重点的に取り組む課題とする きめ細かな協議を行い、一定の方向性を示すこと。				

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・学校規模の適正化に向けた分析・検討	<②事業実施による成果> ・学校規模の適正化に向けた課題の把握 ・教室改修工事の実施（高山小・井口小）			
実施状況					
通年	・学校規模の適正化に向けた分析・検討	上半期		下半期	・（平成26年2月～3月）教室改修工事の実施（高山小・井口小）

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
学童保育所（高山小・井口小）の移転に伴う限られたスケジュールの中で、旧学童保育所の改修工事を円滑に実施し、普通教室の確保を行った。 学校規模の適正化については、庁内プロジェクト・チームで検討を進め、様々な要素を勘案しながら、各市立学校の児童・生徒数及び学級数の推計を行う中で、課題の抽出を行い、方向性の確認を行った。なお、検討報告書については、今後市内で想定される大規模土地利用転換に伴う新たな課題への対応など、未確定な要素もあることから、引き続き検証、検討を行い取りまとめしていく。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	0	8,500	8,500
決算額	0		7,827
執行率 (%)	0.0%		92.1%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	学校 I C T 環境の再整備と最適化	個別事業 掲載No	教 — 6
------------	---------------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量> ・学校 I C T 環境の再整備の完了と利活用 ・教職員向け操作方法等研修の実施	<②事業実施による成果> ・学校 I C T 環境の再整備を完了させることによりセキュリティ機能の向上を実現	
実施計画			
通年	・学校 I C T 環境の再整備の実施 ・教職員向け操作方法等研修の実施	上半期 ・小・中学校で利用する P C 等機器更新作業（夏休み時期） ・学校図書館システムの稼働	下半期 ・校務支援システムデータ移行と新年度稼働準備

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	
<上半期の実績及び課題等> 小・中学校で利用する P C 等機器更新作業が完了した。また、学校図書館システムの開発が完了し、小・中学校図書館での利用を開始した。下半期は、更新した機器及びシステム等の安定的な運用に努めるとともに、学校用 C M S 及び校務支援システムの更新を行う。				
<事業評価審査会特記意見> 引き続き、システム等の安定的な運用に努めるとともに、予算の抑制に努めることが望ましい。				
<政策会議における評価・意見等>				

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量> ・小・中学校で利用する P C 等機器更新完了 ・学校図書館システム開発完了・稼働開始 ・学校用 C M S 更新完了	<②事業実施による成果> ・データセンタ・クラウドサービス活用による信頼性向上 ・教員用 P C : 1094 台及び児童・生徒用 P C : 902 台の導入 ・小・中学校の教室への無線 L A N の導入	
実施状況			
通年	・学校 I C T 環境の再整備の実施 ・教職員向け操作方法等研修の実施（13回）	上半期 ・小・中学校で利用する P C 等機器更新作業（7月～8月） ・学校図書館システムの稼働（9月～）	下半期 ・次期学校用 C M S の導入及び現行学校用 C M S からのデータ移行

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
P C 等機器の更新、学校図書館システム及び学校用 C M S の更新が予定どおり完了するとともに、データセンタ及びクラウドサービスの活用による信頼性向上を図ることができた。 次年度は、今年度導入したシステムの安定的な運用に努めるとともに、事業者の辞退により更新を見送った校務支援システムについては、平成26年度に機器の更改を実施する。			
校務支援システムの更新については、委託先事業者の作業進捗動向等を注視し、適切な進行管理のもと着実に事業を実施する必要がある。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	291,355	277,862	273,650
決算額	285,250		257,647
執行率 (%)	97.9%		94.2%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」掲載 個別事業評価表

事業名	教育支援プラン2022の推進と総合教育相談室事業の充 実	個別事業 掲載No	教 — 7
-----	---------------------------------	--------------	-------

1 当初計画

目標 指標	<①実施する事業量>		<②事業実施による成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画・個別の教育支援計画の適切な作成 学校管理職、教員等への質の高い研修の実施 スクールソーシャルワークの充実 教育支援推進委員会において教育支援プラン2022の推進状況を検証 		<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドラインの改訂と簡易版の全教員配布 教育支援関係研修会参加者に対するアンケート調査を実施し、研修内容理解度の数値化 スクールソーシャルワーカー3人配置の成果検証 教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況を検証 		
実施計画					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 来所相談事業・派遣相談事業 スクールソーシャルワーク業務 各種研修会の実施 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校の校内委員会による教育支援が必要な児童・生徒の発見と対応 夏季教育支援関係研修の実施 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校の校内委員会による教育支援が必要な児童・生徒の対応と引継ぎ 教育支援推進委員会で教育支援プラン2022推進状況検証

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等>			
個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドラインの改訂と簡易版の全教員配布と周知を行った。教育支援関係研修会参加者の研修内容理解度のアンケート調査を実施し課題を探索。教育支援プラン2022については、各事業の進捗状況と課題を把握し、推進状況検証のためのアンケート作成に活かす。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等>			
金額精査のうえ予算化に努める			

3 達成状況

目標 指標	<①実施した事業量>		<②事業実施による成果>		
	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画・個別の教育支援計画の適切な作成 学校管理職、教員等への質の高い研修の実施 スクールソーシャルワークの充実 教育支援推進委員会において教育支援プラン2022の推進状況を検証 		<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドラインの改訂と簡易版の全教員配布 教育支援関係研修会参加者に対するアンケート調査を実施し、研修内容理解度の数値化 スクールソーシャルワーカー3人配置の成果検証 教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況を検証 		
実施状況					
通年	<ul style="list-style-type: none"> 来所相談事業・派遣相談事業 スクールソーシャルワーク業務 各種研修会の実施 	上半期	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校の校内委員会による教育支援が必要な児童・生徒の発見と対応 夏季教育支援関係研修の実施 	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校の校内委員会による教育支援が必要な児童・生徒の対応と引継ぎ 教育支援推進委員会で教育支援プラン2022推進状況検証

4 事後評価 <1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等)>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2																
<p>個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドラインを改訂し、簡易版を全教員に配布し活用した。また、教育支援関係研修会参加者にアンケート調査を実施した(とても理解できた63%、理解できた37%)。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを3人配置した結果、関係機関との連携件数が161件になり、24年度(109件)の約1.5倍に増加した。</p> <p>教育支援推進委員会では、教育支援プラン2022の推進状況を検証し、通常学級での授業改善の取り組みが学習環境作り等に効果を示す一方、指導方法等には課題が認められた。</p> <p>次年度は、今年度実施した調査やアンケートの検証を深め、課題点の具体的な改善策を示すほか、達成した項目のさらなる向上をめざす。</p>		<p>(3) 予算執行状況等 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>68,565</td> <td>57,749</td> <td>57,749</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>64,028</td> <td></td> <td>50,799</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>93.4%</td> <td></td> <td>88.0%</td> </tr> </tbody> </table>			24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	68,565	57,749	57,749	決算額	64,028		50,799	執行率(%)	93.4%		88.0%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績																
予算額	68,565	57,749	57,749																
決算額	64,028		50,799																
執行率(%)	93.4%		88.0%																

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	学校給食の充実と効率的運営	個別事業掲載No	教 — 8
------------	---------------	-----------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・平成26年度からの北野小学校、第六中学校における給食調理業務委託の開始 ・委託開始から5年目を迎える第六小学校の委託業者更新に係る業者選定		<②事業実施による成果> ・市立小・中学校の給食調理業務の委託推進による学校給食の充実と効率的運営 ・委託校の2校増加（計12校）	
	実施計画			
通年	・学校給食運営協議会の開催 ・業者選定手法（プロポーザル等）の検討と日程調整	上半期	・給食調理業務委託新規校2校の保護者説明会 ・業者募集の広報	下半期
				・業者選定作業及び決定

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> 今年度から委託を開始した第二中学校に保護者、学校、委託業者、教育委員会職員で構成する学校給食運営協議会を設置し、7月に会議を開催した。学校給食運営協議会からは、給食内容について好評を得た。また、平成26年度の新規委託校の北野小学校、第六中学校において、給食調理業務委託に関する保護者説明会を7月に実施した。今後は請負業者選定に向け、プロポーザルの実施等、準備を行う。			
<事業評価審査会特記意見>			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 安全でおいしい学校給食の充実と効率的な運営が図られるよう、さらに契約のあり方について検討すること。また、学校と保育園の栄養士がより連携して活躍できるよう情報共有の機会を検討すること。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・平成26年度からの北野小学校、第六中学校における給食調理業務委託の開始のための業者選定 ・委託開始から5年目を迎える第六小学校の委託業者更新に係る業者選定		<②事業実施による成果> ・市立小・中学校の給食調理業務の委託推進による学校給食の充実と効率的運営 ・委託校の2校増加（計12校）	
	実施状況			
通年	・（7・1・2月）学校給食運営協議会の開催 ・業者選定手法（プロポーザル等）の検討と日程調整	上半期	・（7月）給食調理業務委託新規校2校の保護者説明会 ・（9月）業者募集の広報	下半期
				・（10・11・12月）業者選定作業及び決定

4 事後評価 < 1. 高い（計画以上） 2. 普通（ほぼ計画どおり） 3. 低い（計画の7割未満） 4. その他（取り組み方針の変更等） >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
<p>平成25年度から給食調理業務の委託を開始した第二中学校については、生徒・教職員、保護者からも給食内容が評価され、一年間を通して円滑かつ確実に業務が遂行されていることを確認した。</p> <p>平成26年度から委託を開始する北野小学校・第六中学校及び委託開始から5年目を迎える第六小学校の業者選定については、プロポーザル方式による選考を行い、当初計画どおり事業者の決定を行うことができた。</p> <p>新たに中学校1校を給食委託校としたことで、安全でおいしい給食の充実と効率的な運営を図ることができた。</p>			
(3) 予算執行状況等 （単位：千円）			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	227,471	250,948	250,948
決算額	225,521		250,725
執行率（%）	99.1%		99.9%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	三鷹中央学園第三小学校の建替え	個別事業 掲載No	教 — 9
------------	-----------------	----------------------	-------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・児童等への安全に配慮しながら、既存校舎の解体、校庭・外構整備を行い、快適な教育環境を整備する。	<②事業実施による成果> ・第三小学校校舎建替え工事の完了			
実施計画					
通年	・第三小学校校舎建替え工事 (平成26年3月中旬竣工予定)	上半期	・既存校舎の解体	下半期	・校庭・外構整備 ・倉庫・防災倉庫新設

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	
<上半期の実績及び課題等> 既存校舎の解体を実施し、工事総合進捗状況は8月末現在89.2%となっており、予定通り進んでいる。引き続き、児童への安全に配慮しながら、校庭・外構整備及び倉庫・防災倉庫新設を行う。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等>				

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・児童等への安全に配慮しながら、既存校舎の解体、校庭・外構整備を行い、快適な教育環境を整備した。	<②事業実施による成果> ・第三小学校校舎建替え工事の完了			
実施状況					
通年	・第三小学校校舎建替え工事 (平成26年3月下旬竣工)	上半期	・(平成25年4月～8月)既存校舎の解体	下半期	・(平成25年9月～12月)倉庫・防災倉庫新設 ・(平成25年10月～3月)校庭・外構整備

4 事後評価 < 1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等) >

(1) 主管課評価 2 第三小学校建替え事業は、当初の計画どおり既存校舎の解体・校庭整備等を行い、平成26年3月中旬の竣工をめざした。 想定外の大雪により、一部遅れが生じたものの、児童への安全に配慮しながら工事を進め、3月下旬に竣工することができた。 工事全体の完了により、校舎完成と校庭の芝生化など、良好な教育環境を実現することができた。	(2) 事業評価審査会評価 2																
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度実績</th> <th>25年度当初</th> <th>25年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: right;">925,050</td> <td style="text-align: right;">605,720</td> <td style="text-align: right;">605,720</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td style="text-align: right;">925,050</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: right;">604,257</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td style="text-align: right;">100.0%</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: right;">99.8%</td> </tr> </tbody> </table>		24年度実績	25年度当初	25年度実績	予算額	925,050	605,720	605,720	決算額	925,050		604,257	執行率(%)	100.0%		99.8%
	24年度実績	25年度当初	25年度実績														
予算額	925,050	605,720	605,720														
決算額	925,050		604,257														
執行率(%)	100.0%		99.8%														

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	学校体育館の耐震性の確保	個別事業 掲載No	教 — 10
------------	--------------	----------------------	--------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・学校体育館耐震改修工事実施設計 第五小学校4,700千円 南浦小学校4,846千円	<②事業実施による成果> ・体育館耐震改修工事が必要な学校6校のうち、2校の実施設計が完了することにより、国の指針である平成27年度耐震化率100%に向けた取り組みが前進する。		
実施計画				
通年	・第五小学校体育館耐震改修工事実施設計(契約工期平成25年5月1日～平成26年3月14日) ・南浦小学校体育館耐震改修工事実施設計(契約工期平成25年5月11日～平成26年3月14日)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">上半期</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">下半期</td> </tr> </table>	上半期	下半期
上半期	下半期			

2 中間評価 < 1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了 >

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1
<上半期の実績及び課題等> ・学校体育館耐震改修工事実施設計2校(第五小学校、南浦小学校)			
<事業評価審査会特記意見> 国及び東京都の補助金等を有効活用し、事業費について金額を精査した上で実施することが望ましい。			
<政策会議における評価・意見等> 重点的に取り組む課題とする 国及び東京都の補助金を活用するとともに、金額を十分に精査し、適切に取り組むこと。			

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・学校体育館耐震改修工事実施設計 契約金額 第五小学校4,074千円 契約金額 南浦小学校4,200千円	<②事業実施による成果> ・体育館耐震改修工事が必要な学校6校のうち、2校の実施設計が完了し、国の指針である平成27年度耐震化率100%に向けた取り組みが前進した。		
実施状況				
通年	・第五小学校体育館耐震改修工事実施設計(履行期間平成25年5月1日～平成26年3月14日) ・南浦小学校体育館耐震改修工事実施設計(履行期間平成25年5月11日～平成26年3月14日)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">上半期</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">下半期</td> </tr> </table>	上半期	下半期
上半期	下半期			

4 事後評価 < 1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等) >

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2	
<p>学校体育館の耐震性の確保事業は、当初の計画どおり第五小学校、南浦小学校の2校について学校体育館耐震改修工事実施設計が完了した。</p> <p>平成26年度は2校の実施設計に基づいた耐震改修工事を実施し、残る4校(第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校)について実施設計を行い、国の指針である平成27年度耐震化率100%に向けた取り組みを進める。</p>				
(3) 予算執行状況等 (単位: 千円)				
		24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額		579,104	9,546	9,546
決算額		506,112		8,274
執行率(%)		87.4%		86.7%

平成25年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 個別事業評価表

事業名	川上郷自然の村の効率的な運営の推進	個別事業 掲載No	教 — 11
------------	-------------------	----------------------	--------

1 当初計画

目標指標	<①実施する事業量> ・指定管理者による自主事業への実施支援及び広報活動(毎月) ・指定管理者候補者の選定	<②事業実施による成果> ・一般宿泊利用者 11,000人			
実施計画					
通年	・指定管理者選定評価	上半期	・7月 川上村名産のレタス配布によるPR活動(市立保育所1,600個予定)	下半期	・11月以降 早割リフト券付スキープラン(1泊500組・2泊80組見込)

2 中間評価 <1. 重点的に取り組む 2. 経常業務の一環として取り組む 3. 今年度で終了>

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	
<上半期の実績及び課題等>				
施設のPR活動として、7月上旬に全市立保育園19園においてレタス及びPRチラシの配布を行い、保護者から大変好評であった。また、利用者数の実績は、7月末までの累計で前年度比239人増(8.9%増)であり、例年、閑散期となる9～11月において、トレッキングや星空観測等のバスツアーを実施することにより、さらなる利用者拡大を図る。				
<事業評価審査会特記意見>				
<政策会議における評価・意見等>				
金額精査のうえ予算化に努める 三鷹ネットワーク大学の会員等に利用を働きかけるなど、利用者の拡大を図ること。 また、小・中学校の自然教室のあり方について引き続き検討を進めること。				

3 達成状況

目標指標	<①実施した事業量> ・指定管理者による自主事業への実施支援及び広報活動(毎月) ・指定管理者候補者の選定	<②事業実施による成果> ・一般宿泊利用者 10,167人			
実施状況					
通年	・指定管理者選定評価	上半期	・7月 川上村名産のレタス配布によるPR活動(市立保育所1,630個配布)	下半期	・11月以降 早割リフト券付スキープラン(626セット販売) ・10月トレッキングツアー、11月星空観測ツアー実施

4 事後評価 <1. 高い(計画以上) 2. 普通(ほぼ計画どおり) 3. 低い(計画の7割未満) 4. その他(取り組み方針の変更等)>

(1) 主管課評価	2	(2) 事業評価審査会評価	2
上半期は前年度を上回る利用者実績であったが、2月の大雪の影響もあり、目標の11,000人は達成できなかったものの、10・11月の閑散期に実施した各種ツアーが好評であり、また大学等へのPR活動の成果として、3月に延べ300人を超える新規利用実績があるなど、今後は団体利用の拡大が見込まれる。 次年度は、厨房事業の見直しを中心とした経費削減策を実施するとともに、自然教室実施プログラムの検証や代替施設の実地踏査の実施、施設の管理形態の検討など、校外学習施設のあり方について、引き続き検討を行う。			
(3) 予算執行状況等 (単位：千円)			
	24年度実績	25年度当初	25年度実績
予算額	69,338	68,676	68,676
決算額	69,023		68,527
執行率(%)	99.5%		99.8%